

薬物乱用防止教室

平成30年11月26日（月）

演題：『正しい薬の使い方』

講師：学校薬剤師 常國 絃平 先生



今年度は、本校学校薬剤師 常国絃平先生をお招きし、1・2年次を対象に「正しい薬の使い方」と題し、医薬品についての基礎的な知識と身近に迫りつつある危険ドラッグの害についてご講演いただきました。

【生徒感想抜粋】

- ・「おくすり手帳」が災害時に役立つことを知り、以前もらった自分の「おくすり手帳」をゆっくり読んでみようと思った。
- ・医薬品は子どもから大人まで使うものであり、正しく使わないと病気の回復どころか悪化することもある。自分の体に影響が出てしまうので気をつけたい。
- ・薬の種類や飲むタイミングなど、知らなかったことや間違っていて覚えていることがたくさんあり勉強になった。
- ・「食間」の薬の飲み方を誤解していた。目薬の使用方法も大変参考になった。
- ・今後、薬局で薬を買うときは、薬の強さや副作用など理解して買うようにしたい。
- ・病気を薬だけに頼るのではなく、栄養をしっかり摂ったり十分睡眠をとったりすることも大切だと改めて思った。
- ・危険ドラッグは他人事と思っていたが、知らないうちに自分が所持してしまうことがないよう気をつけたい。
- ・危険ドラッグは、どんな成分か不明だし基本構造に新たな分子1つ加えるだけで適当に作られると知り、本当に恐ろしいものだなと思った。
- ・危険ドラッグは絶対に手を出してはいけないし、怪しい店などには近づかないようにしたい。